

教育委員会事務局 (教育監) の経営方針

教育監 太田 恭子

展 望

児童生徒が人間として生涯にわたって心豊かで、力強く生きていくための基盤となる能力を身に付け、知・徳・体の調和の取れた感性豊かな人間形成を図っている。
 子どもが学びたい学校、地域・保護者が子どもを通わせたい学校、教職員が勤めたい学校になっており、開かれた学校・特色ある学校経営をし、信頼される学校をつくっている。
 児童・生徒及び教職員が安全安心な環境下において、心身共に健康な学校生活を送ることができる。

使 命

学校教育の充実を図るため、教員の指導力向上、スポーツ・文化活動の促進、教育研究の推進や学校生活に関わる諸問題の解消などを進めるために、「指導の重点事項」として、「確かな学力」、「やさしい心」、「健やかな体」を育む教育を展開する。
 学校における保健・安全管理を図り、児童・生徒及び教職員の健康保持に努め、学校教育の円滑な実施を確保する。

平成 23 年度組織重点目標

目標項目	達成方法	目標達成基準
ESD (持続可能な開発のための教育) の視点でのカリキュラムの見直し ESD の展開 ・英語教育を全小中学校で実践 ・環境学習を全小中学校で実践 ・「岡崎の心」を醸成する学習の実践	ESD の調査・研究 (研究委嘱) 特別委員会への提言と実践 ・小学校では毎日 8 分のビデオの視聴、中学校ではコミュニケーション能力を伸ばす授業改革 ・岡崎独自の義務教育 9 年間を見通した「環境学習プログラム」の実施 ・岡崎にかかわる人・もの・ことに関わる教材や題材を各教科で開発、実施	・研究委嘱校で研究構想を作成 ・小学校では、年間 8 分 × 175 日の実施 ・中学校では ALT の各学級年間 35 時間の授業の実施 ・小中学校、各学年年間 15 時間の環境学習の実施 ・社会、英語、家庭科、道徳での実施
総合学習センターの研修機能の一層の充実	教育アドバイザーの配置 教育図書・資料を教科・領域指導員が選定、整備し、教育図書室の充実を図る 教育委員会主催の教育行事の効率的な運営	・教育アドバイザーの活用 ・各種研修会の講師を年 10 回以上行う ・蔵書を整理分類し、貸出す

<p>小中学校の適正規模、適正配置に関わる将来推計をまとめる</p>	<p>過大規模校、過少規模校の推計の洗い出し 検討 まとめる</p>	<p>・過大規模校、過小規模校の推計により、将来5年の予測をまとめる</p>
<p>市民大学を盛況にかつ円滑に開催する</p>	<p>市民大学の受講生を市政だより等により募集 初日受付業務の改善 7月～8月にかけて4回の講座を実施</p>	<p>・受講者数 1,200人 (平成22年度 実績 1,113人)</p>
<p>学校からの営繕申請等の精査及び迅速処理</p>	<p>営繕申請内容の現状把握 修繕の必要性の検討、外部委託の検討 作業員、業者への迅速な発注 予算執行状況把握 営繕申請データによる修繕計画策定</p>	<p>・営繕工事の迅速な完了</p>